

1 文のしくみ(1) / 仮名づかい・送り仮名・漢字の成り立ち

トレーニング

1 (1)～(3)は文の主語、(4)・(5)は文の述語を答えましょう。なにも
には×を書きましよう。

□(1) 二人の 仲は 険悪だ。

主語

□(2) 商品の 金額を 決める。

主語

□(3) 姉は 毎年 マフラーを 編む。

主語

□(4) 何事も 基本が 大切だ。

述語

□(5) 父は 道の 向こう側に 車を とめる。

述語

▼**チェック** わからない場合は、P.84「文のしくみマスターポイント1」

を読せう。

2 次のうち、仮名づかい・送り仮名が正しい方を選び、記号で答えま
しう。

□(1) 父の手は〔ア おおきい イ おうきい〕。

〔 〕

□(2) 〔ア はなぢ イ はなじ〕が出た。

〔 〕

□(3) 〔ア おねいさん イ おねえさん〕が来た。

〔 〕

□(4) 友情を〔ア 育む イ 育くむ〕。

〔 〕

□(5) 部屋を〔ア 整る イ 整える〕。

〔 〕

3 次の □の中の漢字を、下の(1)～(4)に分けて、二つずつ書きま
しう。

花 林 門 岩
本 目 草 上

□(3) 会意

〔 〕

□(4) 形声

〔 〕

□(1) 象形

〔 〕

□(2) 指事

〔 〕

実カアップ

1 次の文の述語を書きぬきましよう。ないものには×を書きましよう。

□(1) きつい 仕事で、すっかり つかれた。

述語

□(2) 昼間の 公園は、とても にぎやかだ。

述語

□(3) ぼくは、そんな ことは 知りません。

述語

□(4) これは、妹の 自転車です。

述語

□(5) 保護者の 方は こちらへ。

述語

□(6) わたしは 救う、 貧しい 人々を。

述語

2 次の——線部の仮名づかいが正しいものには○を書き、まちがっているものは正しく書き直ましよう。

□(1) スーパーで、かんずめを買った。

□(2) 短いひもを一本ずつ用意する。

□(3) 小さな声で話すので聞きづらい。

□(4) 走る距離をちじめる。

3 次の——線部のカタカナを、漢字と送り仮名で書きましよう。

□(1) 明日はタノシイ遠足だ。

□(2) 病院ではシズカニする。

□(3) 漢字の意味をシラベル。

4 次の形声文字を、意味を表す部分をア、発音を表す部分をイに分けて書きましよう。

(1) 測

□(1)

ア

イ

□(2)

ア

イ